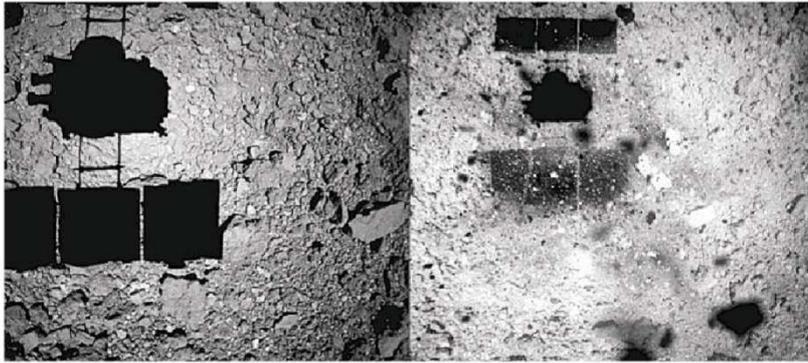


下の記事を読んで問いに答えましょう。

2020年5月8日朝刊

探査機「はやぶさ2」のカメラが撮影した着陸・試料採取(タッチダウン)直前(左)と、直後の小惑星「りゅうぐう」表面(右)
=2019年2月22日(JAXA、東京大など提供)



①小惑星「りゅうぐう」に着陸した探査機の名を書きましょう。

()

②小惑星「りゅうぐう」が水星よりも太陽に近づく軌道を周回していた当時の「りゅうぐう」の表面温度は何度くらいと考えられていますか。

()

③見出しにある「？」と同じ意味で書かれている表現を記事中から見つけ、2つ抜き出して書きましょう。

[]

かつては灼熱の星？

研究チームは、極域に近づくほど変性が少ないことから、太陽熱によって起きたと推測。クレイターの年代測定から、変性は800万〜30万年前のある短期間に起きたとみている。

宇宙航空研究開発機構

(JAXA)と東京大な

どの研究チームは、探査

機「はやぶさ2」による

小惑星「りゅうぐう」へ

の着陸・試料採取(タッ

チダウン)時の観測など

から、りゅうぐうが一時

的に水星よりも太陽に

近づく軌道を周回して

いた可能性が高いと発表

した。当時の表面温度は

600〜800度で、灼

熱(しゃくねつ)の星だ

水星より太陽近く周回か

論文は8日、米科学誌サイエンス電子版に掲載される。東京大の諸田智克准教授と杉田精司教授らは、はやぶさ2がりゅうぐう全体を撮影した画像を分析。中緯度地域の表面は比較的熱などによる変性が進み、極域や新しいクレイター内部は変性が少なかった。また、タッチダウン直後の画像から、巻き上げられた砂煙は変性が進んだ微粒子で、岩の表面を薄く覆っていたことも分かっ

た。現在、りゅうぐうは地球と火星の間の軌道を回っており、表面温度は最高で100程度。過去の隕石(いんせき)の加熱実験から、こうした変性には600〜800度が必要で、りゅうぐうがかつて、水星よりも太陽に近づく軌道を回っていた可能性が高いという。

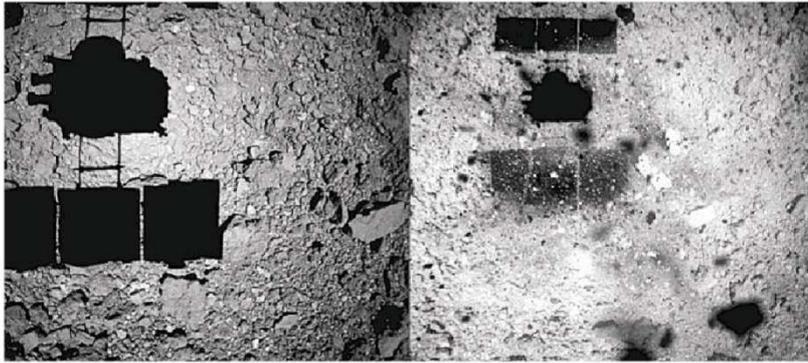
名前組年

下の記事を読んで問いに答えましょう。

2020年5月8日朝刊

探査機「はやぶさ2」のカメラが撮影した着陸・試料採取(タッチダウン)直前(左)と、直後の小惑星「りゅうぐう」表面(右)
=2019年2月22日(JAXA、東京大など提供)

解答例



①小惑星「りゅうぐう」に着陸した探査機の名を書きましょう。

(はやぶさ2)

②小惑星「りゅうぐう」が水星よりも太陽に近づく軌道を周回していた当時の「りゅうぐう」の表面温度は何度くらいと考えられていますか。

(600~800度)

③見出しにある「？」と同じ意味で書かれている表現を記事中から見つけ、2つ抜き出して書きましょう。

推測(される)

可能性が高い

みている

かつては灼熱の星？

研究チームは、極域に近づくほど変性が少ないことから、太陽熱によって起きたと推測。クレイターの年代測定から、変性は800万〜30万年前のある短期間に起きたとみている。

論文は8日、米科学誌サイエンス電子版に掲載される。

東京大の諸田智克准教授と杉田精司教授らは、

水星より太陽近く周回か

はやぶさ2がりゅうぐう全体を撮影した画像を分析。中緯度地域の表面は比較的熱などによる変性が進み、極域や新しいクレイター内部は変性が少なかった。また、タッチダウン直後の画像から、巻き上げられた砂煙は変性が進んだ微粒子で、岩の表面を薄く覆っていたことも分かった。

現在、りゅうぐうは地球と火星の間の軌道を回っており、表面温度は最高で100程度。過去の隕石(いんせき)の加熱実験から、こうした変性には600〜800度が必要で、りゅうぐうがかつて、水星よりも太陽に近づく軌道を回っていた可能性が高いという。

名前組年